

1. 大会概要

◇大会名	『ワールドマスターズゲームズ2021関西』
(英語表記)	(World Masters Games 2021 KANSAI)
◇大会期間	2021年5月14日(金)～30日(日)
	開会式 2021年5月14日(金)
	閉会式 2021年5月30日(日)
◇公式競技	全35競技59種目
◇競技開催場所	関西2府7県4政令市 (福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市)
◇開会式及び閉会式会場	開会式 京都市 閉会式 大阪市
◇参加対象者	概ね30歳以上とし、競技ごとに別に定める。
◇大会参加者募集期間	2020年2月1日～2021年2月28日 (団体競技出場者、競技関係者、サポーターは2021年3月31日まで)

2. 大会づくりの基本姿勢・テーマ

◇大会づくりの基本姿勢

2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2021年の本大会と、日本におけるスポーツ振興・文化振興が高まる「ゴールデン・スポーツイヤーズ」を歴史的なチャンスとして大会の開催効果を最大限に引き出すため、競技運営や参加者交流の場の提供など大会運営を円滑に進めていくとともに、生涯スポーツ社会の実現や関西・日本の文化・産業の活性化、地域の創生など、後世に成果を引き継ぐためレガシーの取組についても大会づくりの重要な要素とし、これらを積極的に推し進めていく。

◇大会づくりのテーマ

大会づくりの基本姿勢を体現していくとともに広域開催を大会の強みに変えて広く成果を遺していくため、5つのテーマを設定し、組織委員会及び各府県政令市実行委員会をはじめ、すべての関係者がこれらのテーマを大会づくりの根幹をなすものとして念頭に置き、創意工夫を凝らして大会づくりを進めていくこととする。

①すべての大会参加者に快適で満足できる大会を提供する

「インクルーシブな大会」をテーマに、国籍や年齢、性別、障がいの有無に関係なく個々人の特性に応じてすべての大会参加者が快適に大会とツーリズムを楽しむことができるよう、会場づくりやおもてなしメニューの創出など受入態勢の整備に取り組み、

地域社会の活性化や共生社会の実現への理解促進などにつなげていく。

②大会の一体感を創出する

大会参加者が競技会場地だけでなく開催地域全体を楽しんでいただき、関西・日本に再度訪れたいと思っていただくなど大会終了後にも引き継ぐことのできる成果とするため、各開催地で地域全体を盛り上げるとともに、それらを有機的に結びつけて大会の一体感を創出していく。

③大会づくりの担い手を増やす

大会参加者に今までにない最高の体験をしていただき、それらを次世代に引き継ぐ成果として遺していくため、大学、地域住民、ボランティア、企業など様々な分野の方に参画していただき、それぞれの強みを融合して大会づくりを進めていく。

④スポーツ愛好家を増やす

大会の準備段階から日常的にスポーツをする愛好家を増やす取組を行い、大会の参加に繋げていくとともに、生涯スポーツ社会の実現や、スポーツ実施率の向上、健康寿命の延伸、障がい者の社会参加など社会的課題の解決にも寄与していく。

⑤大会の情報発信力を向上させる

上記の取組効果を最大限に発揮するため、組織委員会及び各府県政令市実行委員会の両者がそれぞれの持ち味を生かした広報活動に取り組むとともに、過去大会の参加者や他のマスターズ大会とのネットワークを拡大させて、大会の持つ魅力と大会の情報発信力を向上させていく。